



2026年4月7日

各 位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 田村 泰朗



太陽生命、苦情対応に関する国際規格「ISO10002」への 適合性に関する「第三者意見書」を取得

～『お客様の声』をお客様満足度向上に活かすために～

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 田村泰朗）は、本年3月27日付で苦情対応に関する国際規格「ISO10002」への適合性に関する「第三者意見書」を取得しましたのでお知らせいたします。

当社は、2008年3月に、苦情対応に関する国際規格「ISO10002」に準拠した「苦情対応マネジメントシステム」について、保険業界で初めて第三者認証を取得し^(*)、『お客様の声』を活かした業務品質の維持・改善を図るなど、お客様満足度向上への取組みを積極的に展開してまいりました。

「ISO10002」への適合性に関する「第三者意見書」は、「苦情マネジメントシステム」の適切性を検証するものであり、今回取得した「第三者意見書」では、「トップのリーダーシップのもと『お客様の声』が顧客本位のビジネスに活かされている」「常に、お客様のことに意識を向け、将来を見据えた新しいことにチャレンジされている姿勢がある」点等が評価され、当社の「苦情マネジメントシステム」が同規格に準拠し適切に機能していることが確認されました。「第三者意見書」の取得は13年連続となります。

当社はこれまで、お客様の元気・長生きを支える商品として「ひまわり認知症予防保険」の発売や、健康状態に不安のあるお客様でも簡単な告知でお申込みいただける選択緩和型商品の保障充実、専門知識を有する職員がお客様を直接訪問して給付金請求手続きのサポートを行う「かけつけ隊」サービスの推進等、充実した商品、サービスの提供に取り組んでまいりました。

また、インターネットで保険申込みが完結する「スマ保険」や、オンライン面談機能を搭載した営業職員用携帯端末「T-A-I-F-a-c-e」を導入する等、お客様のニーズに応じて対面・非対面を融合した保険加入スキームを提供してまいりました。

さらに、お客様専用インターネットサービス「太陽生命のマイページ」の利便性向上や画面共有機能を活用した手続きサポートを実施する等、お客様の多様なご要望にお応えしてまいりました。

太陽生命は、これからも『お客様の声』を業務改善に活かし、商品とサービスを一体的にご提供する取組みを進めることにより、サービス品質・お客様満足度の一層の向上に努めてまいります。

【ISO10002（品質マネジメント—顧客満足—組織における苦情対応のための指針）】

2004年7月に国際標準化機構（ISO）により制定された苦情対応に関する国際規格であり、消費者保護と顧客満足実現のために必要とされる様々な要件を指針（ガイドライン）として定めたものです。

(*)当社調べ（2008年3月時点）。

以上

第三者意見書

太陽生命保険株式会社の苦情対応プロセスにおけるマネジメントシステムが、ISO 10002:2018/JIS Q 10002:2019 (以下 ISO 10002 と称す) に準拠して構築され、運用、維持、さらには、継続的改善がなされているか否かを関連文書や関係者へのヒアリングならびに活動記録などの内部資料をもとに検証した。

その結果、苦情対応プロセスに関する各規程も ISO 10002 に適合していた。また、その運用や要員の認識においても ISO 10002 の要求事項を満たしており、さらに、その先の顧客満足の充実に向けて、PDCA サイクルが回っていることが確認された。特に、以下の項目においては、その表れとして評価できる。

1. トップのリーダーシップのもとに「お客様の声」収集の推進がなされており、それがお客様本位のビジネスに活かされていること
2. 苦情対応における根幹的な全社目標の設定により確実に減少させていること
3. お客様本位の業務運営の充実と発信
4. 部長クラスがメンバーの会議体である「お客様の声連絡会」が全社的課題や重要性が高い各部の改善に向けて機能していること
5. ホームページに掲示されている取組を見ると、その量の多さ、アクションプランや振り返り等の取組の質的レベルがかなりの水準にあること
6. 教育・ミーティングの質の向上（お客様相談課を中心にした本社サイドの支援）
7. 各部、各支社においても、年々第一線に即した細かな対策を立てており、お客様対応に係るサービス品質向上に対する全社活動がスパイラルアップしてきている点
8. 常に、お客様のことに意識を向け、将来を見据えた新しいことにチャレンジされている姿勢があること

以上のことから、太陽生命保険株式会社の苦情対応プロセスにおいては、ISO 10002 に準拠した苦情対応マネジメントシステムが順調に機能していると判断し、評価した。

2026年3月27日

柴田CSマネジメント株式会社

代表取締役

柴田 純男

